

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進		
	施策	01	自主的学習の推進				
目的	市民の生涯学習のきっかけづくりや学習機会の増加を図るため、生涯学習講座を開催する。						
対象	市民及び市内在勤者						
意図	市民の課題解決のきっかけづくりなどを生涯学習の場や機会を提供する						
事業概要	○富士大セミナー、イーハトーブ花巻カレッジ 61千円 ○生涯学習講座の開設 3,507千円 まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・石鳥谷・東和の各総合支所で高齢者学級、女性学級、市民講座を開設 ○石鳥谷地域支援事業 25千円 ○27コミュニティで実施する生涯学習事業を支援（研修実施、人材育成等） 509千円 ○家庭教育支援講座 157千円 ○共通経費 19,284千円						
市民参画の有無	無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	講座開催数	回	計画	342.00	341.00		
			実績	202.00	239.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標	90.00	90.00		
			実績	97.70	94.50		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
学習機会の提供、きっかけづくりにより、成果として市民の生涯学習活動への意欲の醸成の達成度を測る指標として設定したものであるが、内容が充実した講座を開催できたことにより、受講者アンケート項目の「もっと学んでみたい」「学んでみたい」と思う人が、目標値を上回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民のライフスタイルや生活課題が多種多様化している中で、課題解決のためのきっかけづくりなど学習機会を提供し、市民の生涯学習への取り組みを支えることはひとつづくりにつながり妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	生涯学習機会を提供することにより、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心や連帯感の向上が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は講座数の削減により、これ以上削減余地はない ・職員が関わるのは、コーディネーター、講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である。 ・講座開催の最低限の経費となる講師の謝礼経費については公費負担としているため適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価	今年度の振り返り	学習機会として提供している各種講座をつうじて、生涯学習のきっかけづくりや、自主学習への関心は高まったと考える。
	次年度に向けて	学習者の主体的な学習支援と学びの循環が継続できる学習機会の提供を行っていくとともに、地域での主体的・自主的な生涯学習活動を支援していくことが重要と考える。

令和4年度
事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	01	104340	生涯学習活動支援事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進		
	施策	01	自主的学習の推進				
目的	市民の自主的な生涯学習の活動を支援するため、学習機会と発表の場を提供する。						
対象	市民及び市民団体						
意図	生涯にわたっていつでもどこでも学べる環境を提供する						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい出前講座 1,111千円 生涯学習講師、公共機関職員等の派遣 ○生涯学習フェア開催 428千円 まなび学園祭の実施(10月) ○まなびキャンパスカード 127千円 児童・生徒の文化施設等利用に係る減免 ○学習資源検索システム 190千円 生涯学習情報をホームページで提供 ○はなまきまなびポイント 6千円 生涯学習講座等の参加記録事業 ○共通事業 4,894千円 						
市民参画の有無	無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	生涯学習団体登録数	団体	計画		150.00	125.00	
			実績		113.00	113.00	
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	生涯学習講師新規登録者数	人	目標		14.00	14.00	
			実績		12.00	5.00	
2	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標		90.00	90.00	
			実績		97.70	94.50	
3	まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合	%	目標		60.00	60.00	
			実績			52.89	
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
<p>①生涯学習講師新規登録者数について、登録者は少なかったものの、指導内容がほぼ新規のメニューであり学習活動の幅が広がったと考えられる。</p> <p>②まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合は、目標に満たなかった。3年ぶりの開催であり、新型コロナウイルス感染症流行の様子をみながら、例年より縮小した規模で行ったことも要因の一つであると思われる。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・生涯にわたっての学び、心豊かな生活を送るため、市民の生涯学習への取り組みを支援することは妥当である
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・生涯学習活動への支援により、趣味や生きがいのための学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心等も深まり、学習に取り組む市民が増えていくことが期待できる
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業費は講師の派遣経費や学習資源の検索システムのランニングコスト等であることから削減余地はない。 ・職員が関わるのは、内容の企画立案・実績集約・講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	<p>今年度の振り返り</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症流行の様子をみながら事業を行った。後半は施設制限がなくなったため、3年ぶりにまなび学園祭を開催することができたなど、徐々に以前の状況にもどりつつある。</p> <p>次年度に向けて</p> <p>本事業は、市民が主体的に学ぶために必要である講師等の学習資源の紹介や市の学習拠点施設における学習成果の発表の場、生涯学習のきっかけづくりを活動として盛り込んでおり、今後とも主体的、自主的に学ぶ意欲の醸成に努めていきたい。</p>

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名				
01	10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業費				
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進				
	施策	01	自主的学習の推進						
目的	市民が生涯にわたって学ぶ習慣を身につけるため、良質な資料を提供し自主的な生涯学習活動を支援するとともに、視聴覚学習の場を提供する。								
対象	市民、市内に勤務先を有する者								
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる								
事業概要	○視聴覚教育推進事業 3,106千円 視聴覚資料・機材の貸出（学校、振興センター、自治公民館等） 16ミリ映写機操作技術講習会 1回 図書館子ども映画会（5～3月 月1回） 夏・冬・春休み子ども映画会（春中止） クリスマス映画会 1回 読書週間映画会 2回 休日ほっと映画会 毎月1回 バリアフリー映画会（聴覚障がい者等） 1回								
市民参加の有無	対象外								
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託			
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05		
1	視聴覚資料の利用本数			本	計画	420.00	420.00		
					実績	162.00	222.00		
2					計画				
					実績				
3					計画				
					実績				
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05		
1	視聴覚資料を活用した観覧者数			人	目標	7,600.00	7,600.00		
					実績	3,703.00	2,806.00		
2					目標				
					実績				
3					目標				
					実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため館内イベントの人数制限等を行いながら開催したことや行動制限等の時期に利用していた団体の利用が減少したことから、利用本数や観覧者数は目標値より低かったが、夏休み・冬休み巡回映画会を文化会館の大ホールを利用して開催するなど会場を工夫したり、視聴覚教育ライブラリーの情報提供を促進し、各種団体への周知活動を行ったこと等により、一定の利用があった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	社会教育法第5条第1項17号に規定されている市町村教育委員会の事務である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	子ども向けの映画会については、児童が視聴できる開催時間、開催日を検討する。また、多くの市民に視聴覚ライブラリーの活用を促すため、図書館ホームページや振興センターを通じて情報提供を積極的に行うことで視聴覚資料の利用拡大を図る。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の7割が人件費で、事業費の削減余地はない。会計年度任用職員1名で月2回の映画会及び春・夏・冬・読書週間の映画会に対応している。他にも他市町村や市内の関係団体等への視聴覚資料の貸し出しや16ミリ映写機講習会、カウンター業務及びレファレンス業務も行っており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	市内生涯学習団体等に資料等の提供を行っており、受益者への偏りはない。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	今年度の振り返り 視聴覚教育事業の周知については、引き続き図書館ホームページで視聴覚教育ライブラリー情報の提供及び郷土資料の収集を行うなど、視聴覚資料や目録の充実、各種団体への周知方法を強化し、今後も自主的な生涯学習のアイテムとして積極的に社会教育機関等の利用促進を図った。
	次年度に向けて 視聴覚教育事業の周知については、引き続き図書館ホームページで視聴覚教育ライブラリー情報の提供及び郷土資料収集を行うなど、視聴覚資料や目録の充実、各種団体への周知方法を強化し、今後も自主的な生涯学習のアイテムとして積極的に社会教育機関等の利用促進を図る。	

令和4年度
事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	01	104450	生涯学習施設整備事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	01	自主的学習の推進			
目的	生涯学習拠点施設である生涯学園都市会館（まなび学園）及び石鳥谷生涯学習会館の長寿命化及び利用者の利便性向上を図るため、計画的な修繕を行う					
対象	市民の課題解決のきっかけづくりなどを生涯学習の場や機会を提供する					
意図	生涯学習拠点施設として長寿命化することにより、施設を有効活用し利用者の利便性を図る					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学園都市会館（まなび学園）整備 495千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事 R4は工事修正設計業務のみ実施 R5予定工事 体育施設屋根修繕、給排水設備修繕 ○石鳥谷生涯学習会館整備 63,217千円 <ul style="list-style-type: none"> ・講堂空調設備改修工事、監理業務 ・本館外壁塗装改修工事実施設計 <p>（繰越明許分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石鳥谷生涯学習会館トイレ洋式化等改修工事 監理業務 1,375千円 ・石鳥谷生涯学習会館トイレ洋式化等改修工事 30,712千円 					
市民参画の有無	無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	生涯学園都市会館大規模改修工事	件	計画	1.00	0.00	
			実績	1.00	1.00	
2	石鳥谷生涯学習会館講堂空調設備・本館外壁塗装工事	件	計画	1.00	1.00	
			実績	1.00	1.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
工事の実施が目的の業務であることから、成果指標の設定にはなじまない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・生涯学習施設は誰もが利用できる身近な公共施設であり、市民の生涯学習を支援する上でも、施設の改修は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・施設改修により、安全性と快適性を高めることにより、利用者の利便性を図る。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・令和4年度は工事及び業務委託のみの事業であることから必要限りの費用であり削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	・施設の利用者は全市民であり、受益機会は均等である。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	生涯学習施設の活動拠点施設について、適正な整備が実施され計画通りに完了した。
	今年度の振り返り	
	次年度に向けて	
次年度も引き続き、生涯学習拠点施設である生涯学園都市会館（まなび学園）、石鳥谷学習会館及び沢崎生活改善センターの長寿化及び利用者の利便性向上を図るため、計画的な修繕を行う。		

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	10	05	03	104460	読書活動推進事業費			
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進			
	施策	01	自主的学習の推進					
目的	本に親しむ環境づくりや読書活動推進のため、読み聞かせ等の活動、人材育成を行う。また、第四次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの発達段階に合わせた取組や読書への関心を高める取組を行うなど更なる読書活動の推進を図る。							
対象	乳幼児～高校生、一般							
意図	乳幼児親子への絵本配布や読み聞かせ指導や、乳幼児～小学生を対象とした「おはなし会」等の開催で親子のふれあいと読書への関心を高め、読書活動に関心のある市民を対象としたスキルアップ講座を行うことにより、更なる読書活動の推進を図る。							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業 1,549千円 ○読み聞かせ事業 5,028千円 ○図書館司書の配置及び乳幼児親子や小学生を対象とした読み聞かせを定期的実施。 ○花巻市みんなでライブラリー事業 131千円 ○読書習慣の定着化や図書館の活用方法の周知、本と親しむ喜びなどを体得するため事業を開催。 ○花巻市読書活動推進スキルアップ講座 90千円 ○読書おもいで帳の発行 22千円 ○読書への関心を高め図書館の利用促進を図るため、市内の乳幼児から中学生を対象に読書おもいで帳を発行。 ○第四次花巻市子ども読書活動推進計画の推進 65千円 							
市民参画の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ実施回数			回	計画	125.00	125.00	
					実績	100.00	82.00	
2	読み聞かせ実施回数			回	計画	150.00	150.00	
					実績	44.00	120.00	
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05	
1	18歳以下の人口に対する1人当たり貸出冊数			冊	目標	9.10	7.10	
					実績	6.80	6.70	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症対策として、閲覧やイベントの人数制限を実施しているため、利用者、貸出冊数ともに目標値より低かったが、1回の貸出冊数を増やしていることが利用者に浸透してきていることや、対象年齢に合わせた絵本等を随時展示・紹介していることなどにより、多くの親子に絵本を渡す機会が得られ、読書推進を行うことができている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	子どもの読書活動の推進に関する法律及び第四次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、市が読書活動の環境の整備を推進するものである。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	5か月児と1歳6か月を対象とするブックスタート事業にフォローアップを加え、参加率の向上を図っている。また、事業の実施に当たっては、チラシやホームページ等を活用し、周知を図る。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、配布絵本の購入費や会計年度任用職員報酬がほとんどであることから、削減の余地はない。また、人件費はブックスタート等事業を月4回（2時間程度）実施し、読み聞かせは、月3回（1時間程度）実施しており、その他はカウンター業務やレファレンス業務を行っているため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市内全域の乳幼児等を対象としており、公平・適正に実施されている。
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	○ 適正である	
	今年度の振り返り	ブックスタート及びブックスタートプラスの2つの事業を引き続き実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着が図られている。読み聞かせ等イベントの開催については、引き続き、広報、えふえむ花巻の図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、コロナ禍の中でも工夫しながら読み聞かせなどの事業をボランティアの協力を得ながら実施することで本への関心を高めることができ、読書習慣が身につくことが期待される。
	次年度に向けて	ブックスタート及びブックスタートプラスの2つの事業を引き続き実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着を図る。引き続き、広報、えふえむ花巻の図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、読み聞かせ等の事業ではボランティアと情報を共有し、工夫しながら実施することで本への関心を高めるとともに若年層の読書率を伸ばし、生涯を通じた読書習慣の定着を図る。

令和4年度
事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	03	104470	図書館整備事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進		
	施策	01	自主的学習の推進				
目的	生涯学習の拠点施設として、知識の向上や心の豊かさを求める市民ニーズに的確に対応できる機能を備えた新しい図書館を整備する。						
対象	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する						
意図	花巻図書館を新築整備し、生涯にわたり学べる環境を提供する。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○新花巻図書館整備基本計画検討業務 728千円 ・基本計画を策定するにあたり、検討会議を開催し専門的な見地から意見を聴取した。 ・図書館に関する有識者から計画策定に係るアドバイスを得た。 ・検討会議等、図書館整備に関する会議内容を整理し公開した。 ○図書館整備情報発信等業務 245千円 ・新花巻図書館整備に関する情報を専用サイトにより発信した。 ○新花巻図書館蔵書整理計画策定業務 4,360千円 ・開館時の蔵書、収蔵資料等の管理を計画的に行うため、整理計画策定準備を進めた。 						
市民参画の有無	花巻市立図書館協議会での審議、パブリックコメント、市民説明会（実施時期未定）						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	図書館関係職員の育成講座実施回数			回	計画	24.00	
					実績	2.00	7.00
2	ウェブサイトPV数			回	計画	3,000.00	
					実績	7,891.00	2,612.00
3					計画		
					実績		
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1					目標		
					実績		
2					目標		
					実績		
3					目標		
					実績		
成果指標の達成度		-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新図書館を整備することが目的の事業であり、現在は整備に向けた計画を策定しているものであることから、成果指標の設定にはなじまない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・図書館は誰もが利用できる身近な公共施設であり市民の生涯学習を支援する施設の整備は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・機能を充実させ利用しやすい生涯学習施設として整備することにより利用者の増加が見込まれるほか、中心市街地の賑わいや活性化が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・基本計画を策定する等の事業を進めるうえで必要な費用であり削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	・受益者は、特定の市民ではなく全市民であり、誰もが利用できる施設の整備であることから、受益機会は均等である。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	<p>今年度の振り返り</p> <p>新図書館を整備するための基本計画策定に向け、まずはそのもととなる基本計画試案の策定するため、試案検討会議を開催し試案の検討を進め、新図書館のサービスと機能面については、概ね方向性が整理できた。一方で建設場所について、試案検討会議の意見を踏まえ、市民説明会や関係団体への説明を行ったが選定には至らなかった。</p> <p>次年度に向けて</p> <p>基本計画策定に向け、建設場所選定にあたっては、様々な意見があるが、それぞれの候補地の事業費の比較などの資料の作成も検討し、それらを使って市民に対し丁寧に説明した上で作業を進める。</p>